

杉並区立西田小学校 第7回 学校運営協議会 メモ

- ・日時 平成30年11月10日（土） 12時00分から12時50分
- ・場所 杉並区立西田小学校図書室
- ・出席者 諏訪会長、成田会長職務代行【委員】小堂校長、恵良、武井、中澤、半澤、望月、渡邊、
檜枝（記録）

【事務局】新井副校長

- ・配布資料 資料1 平成30年度第7回学校運営協議会次第
資料2 平成30年度第6回学校運営協議会メモ
資料3 平成30年度教育調査用紙と平成29年度集計結果
資料4 学校運営協議会だより第2号（案）

1 給食の試食

- ・給食の試食を行った。

2 会長挨拶

- ・学習発表会の感想を述べると、全児童に役割を与えて参加させているという教員の大変な努力と児童の元気な姿を感じた。
- ・給食の試食の機会を与えられて大変満足している。

3 校長挨拶

- ・学習発表会の生徒の姿を委員の皆さんに見ていただくことが大切と思っているので、本日実現してよかった。

4 前回の協議会記録について

- ・了承された（資料2）。

5 教育調査の内容について【報告】

- ・新井副校長から、12月に実施予定の平成30年度杉並区「教育調査」小・中学校教員用、同児童・生徒用、同保護者用の3種の調査用紙、「平成29年度杉並教育調査」および「西田小よりよい学校づくりアンケート」集計結果が紹介された（資料3）。
- ・本年度の調査結果は正月休みに集計し、1月に検討会を行う予定。

6 学習発表会についての感想【協議】

- ・素晴らしい内容であった。
- ・準備にかけた時間とシナリオの準備に関して質問があり、新井副校長から以下の説明があった。

2～3週間前から特別時間割を組んだ。2週間前から体育館と視聴覚室を割り当てた。それより前に準備を始める学年もあった。学習発表会の準備に時間を使いすぎないように注意している。

オリジナルなシナリオとして、6年生は生徒が作った。皆で原稿を練り直して台本・演出係を決め、

オーディションで出演者を決めた。演技をする生徒以外に舞台に立たない音響係、映像係などもいる。
5年生は教員がシナリオを作った。

- ・学年ごとなので、複数のクラスを教員が束ねる必要があり大変だろう。
- ・生徒も大変だと思うだろうが、楽しみでもあり成長の機会でもあるので大切。
- ・保護者は見るのを楽しみにしている。
- ・戦後に始まった学芸会は古くなり現在では必要ないのではないか、ESD 発表会のほうが学習発表会にふさわしいと考える教員もいると紹介されたのに関連して、以下の学習発表会が大切とする意見が出た。

舞台は学んだものが集約される創造的な文化の体験となるので、他では得られない学びがある。

皆で協力して作り上げる体験は他では得られない貴重な体験。

忙しい教員の本音かもしれないが、大勢の前で大きな声を出す経験は大切。

- ・支援本部が外部講師を呼んで3年生の学習発表会の支援をした。台本は9月15日にできていて、読み込み、オーディションと進んでいった。外部講師は演劇が楽しいことを伝えようとしていた。
- ・本日の発表会を次の三つの視点で見た：大きな声を出しているか、仲間の声を聴いているか、仲間と合わせようとしているか。
- ・5年生は授業で学んできたことを発表した。これが正しい学習発表会と思う。
- ・ESDの最近のトレンドとして、ソーシャルとエモーショナルの二要素が重視されている。両者は二者択一でなく両方とも必要。
- ・古いものでも現代的な価値があるものもある。伝統的な日本の学校の特別活動(学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事)は海外から高い評価を受けている。20年にドイツから視察に来たし、現在はアフリカで注目されている。守破離はシリコンバレーで注目されている。古いものでも新しい現代的な価値があるものもあるので、もう一度見直したほうが良い。
- ・演劇には二つの演劇があり両方とも意味がある。一つは舞台での発表、もう一つは作るプロセスの出来事を演劇とみる。

7 学校運営協議会だよりについて

- ・原案(資料4)に修正意見を加味して修正版を作りメールで確認し確定稿にする。カラー版で印刷する。

8 事務連絡

- ・次回(第8回)学校運営協議会について
12月17日(月)16時から、第二図工室で開催

9 その他

- ・10月21日(日)行われた同窓会のホームカミングデーの報告があった。次回、時間的に可能であれば「西田小75年のフォトムービー」を映写する。
- ・桃井第四小学校で11月29日に行われる6年生参加の学校運営協議会について情報提供があった。